

政治経済学科 秋の講演会 2010

「安楽死を問う— 現代の日本で生きるために」

高齢者の孤独死、残虐な殺人事件が相次ぐ日本。今、改めて私たちは「生きる」ことに確信をもたねばなりません。時を同じくして、医療の世界では臓器移植法案が改正され、臓器移植が頻繁におこなわれるようになりました。「生命」をめぐる状況は大きく変化しています。今回、「安楽死」を合法化したオランダで長く取材を続けられた三井美奈先生を講師にお迎えして、ヨーロッパの状況を報告していただきます。それを通じて、日本の生命倫理をめぐる議論を検証してみたいと思います。奮ってご参加ください。

■講演者プロフィール



三井 美奈

読売新聞社 国際部デスク

1967年奈良県生まれ。1989年一橋大学社会学部卒業、読売新聞社入社。社会部、国際部、ブリュッセル支局特派員、エルサレム支局長、ハーバード大学日米関係プログラム客員研究員を経て、国際部へ。著書に『安楽死のできる国』『イスラエル ユダヤパワーの源泉』（いずれも新潮新書）。

■コーディネーター 松尾 秀哉（政治経済学科准教授）

2010年11月10日(水)11:00~12:30

会場：聖学院大学チャペル 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1
(JR高崎線宮原駅よりスクールバスで7分、またはJR埼京線西大宮駅よりスクールバスで10分)

■次回講演会のお知らせ

「憲法と資本主義の現在」～「百年に一度の危機」のなかで考える～

日時：11月17日(水)11:00～12:30

会場：聖学院大学チャペル

講演者：杉原 泰雄(一橋大学名誉教授)



Love God and Serve His People

聖学院大学

【お問合せ先】 企画総務課

事前申込は不要です。

TEL. 048-781-0925

FAX 048-726-2962

http://www.seigakuin.jp E-mail pr@seig.ac.jp